

「地域」・「連携」・「継続」～「木材」に関わる全ての人々の笑顔のために～

当社は、住宅木材の加工や工務店等への材木の販売を行っています。私は、材木店での修行を経て、平成2年に創業しました。創業時は妻と2人で中古の軽トラック1台を運転し、二人三脚で仕事に励みました。顧客の信用を得るため、木材の肌触りや特性、その機能に至るまで日々勉強を重ね、一つ一つの住宅に最適な木材を提供するため、心をこめて働いてきました。



担い手の育成のため、大学等で講演も行っている

そうした積み重ねにより、「ユーザー、さらにはエンドユーザーとの会話の重要性」に気づきました。私はもともと人々の笑顔が大好きでした。そのため、ユーザーやエンドユーザーの要望や願いを真摯に聞いたうえで、その人々を笑顔にするため仕事に励んできました。今の当社があるのは、そうした姿勢を顧客に評価していただいたおかげだと

思っています。その結果として、顧客からの紹介により、徐々に仕事が増えていきました。これらの経験は、私に「人との繋がり」の大切さを認識させてくれました。

こうして徐々に事業が拡大する中、私の中にはあるキーワードが浮かびました。それは「地域」、「連携」、「継続」です。

「地域」とは、その人が暮らす地域で育った木材を使い、地域を知り尽くした工務店等で家を立てることにより、地域や風土にあった家造りを行うことができる。「連携」とは、林業者、木材加工業者、材木販売業者、工務店等、木材に係わる全ての人々が「地域」を意識して協力する。そして「継続」とは、「地域」・「連携」の動きを一時的なこととせず、継続するため、後継者や担い手の育成に力を入れる。

私は、この「地域」・「連携」・「継続」の循環こそが、人々が幸せに暮らすために重要な要素であると考えてにいたり、この想いを胸に、これからも人々と話し、人々の笑顔のために働き続けたいと思っています。木材に関わる全ての人々の笑顔を思い浮かべ、これからも真摯にこの仕事に取り組んでいきます。そんな私の心は、常に充実感に満ち溢れています。

